

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月22日更新

事務事業名		女性連絡協議会活動運営支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康				所属部	総務部	課長名	岩田建一
	施策	12	人権が尊重される社会づくり				所属課	総務課	担当者名	中山あや
	施策の柱	45	男女共同参画社会の実現				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目		会計一般	款2	項1	目15	事業連番10912	根拠法令	合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱		成果優先度評価結果：⑩ コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	①男女共同参画社会づくりの推進を目的として、「合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱」に基づき、合志市の女性団体・グループ等で構成する事務所の運営に関する経費・研修・イベント活動に係る経費に対して補助を行う事業。 ②主催事業には市が共催・協力することにより、男女共同参画や地域に根ざしたまちづくりを推進する。 ※平成13年に旧合志町の女性議員(男女共同参画推進懇話会会長)が、大津町の女性連絡協議会にならい、当会を設立した。
【業務の流れ】	補助金の支出
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	現在の構成員は14団体であり、さらなる組織の拡大・活性化を目指しているところである。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO) 合志市女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”への補助金の支出を行った。		29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金額	千円	
イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”	→ ア: 構成団体数	団体
イ:		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が活発にできるようにすること。	→ ア: セラヴィが当初計画した事業を完了した割合	パーセント
イ:		
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が、活発にできるようになることがこの事業の意図であるため、当初計画した事業を完了した割合とする。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標		ア イ	千円 303	360	360	267	360	360	360	360	
② 対象指標		ア イ	団体 15	14	15	14	15	15	15	15	
③ 成果指標		ア イ	パーセント 84	100	100	74	100	100	100	100	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	304	360	360	267	360	360	360	360
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	304	360	360	267	360	360	360	360
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件 費	正規職員従事人数	人	3	2	1	2	1	1	1
	延べ業務時間		時間	84	54	50	54	50	50	50	50
	(B) 人件費計		千円	334	200	199	201	199	199	199	199
トータルコスト(A)+(B)		千円	638	560	559	468	559	559	559	559	

事務事業名	女性連絡協議会活動運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 毎月運営委員会を開催しているので、そこで自分達が何をやりたいか論議し、計画的に実施されれば達成される。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 加入団体等を増やし、実施する活動事業等により多くの市民が参加することで、成果を向上させる余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的を持つ団体はない。ただし、市の主催事業との統合の余地はある
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金のみである。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 業務内容は、補助金の申請・交付事務で、最低限の業務である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象に活動を行っており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の事業は補助金交付事務、活動への協力・助言等であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

熊本地震の影響により、中止となった事業もあったが、各種の地域づくり活動を展開し、地域活性化という目的に関しては大きく寄与した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

☐廃止
☐休止
☐目的再設定
☐事業統廃合・連携
☐事業のやり方改善 (有効性改善)
☐事業のやり方改善 (効率性改善)
☐事業のやり方改善 (公平性改善)
☒現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策

合志市